演題番号 6	当院における胸腰椎圧迫骨折患者の在院日数に影響を与える要因
発　表　者	安芸太田病院　理学療法士　吉尾　壮平
共同発表者	佐伯　修，栗栖　拓哉，中川　祐人

本研究は，当院における胸腰椎圧迫骨折患者の在院日数に影響を与える要因について明らかにすることを目的とした。当院に胸腰椎圧迫骨折の診断にて入院し，除外基準を除いた46名を早期退院群と長期入院群に分け，各調査項目との検定を行った。その結果，在院日数との関連を認めたのは介護保険利用の有無であり，特に長期入院群では入院時点で要介護認定を受けているものが多かった。そのため要介護認定患者では，スムーズな退院のため特に早期からの関わりが必要であることが示唆された。

MEMO